

## 市会と市長

市民が安心して快適に暮らしていけるように、市政の運営については市民の意見が十分に反映される必要があります。しかし、市民全員が話し合うことは難しいため、「市会議員」と「市長」を選挙で選び、市政の運営を委ねています。

この制度のことを「二元代表制」といい、市会のことを「議決機関」、市長をはじめ、教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会、農業委員会等の行政委員会及び監査委員を「執行機関」といいます。市会と市長は独立・対等の立場で市政を担い、互いのけん制と調和により、公正な行政を確保し、市民の意思を尊重した、より良い市政の実現を目指しています。

市長は、予算案や市の法律ともいえる条例の案など、市政を運営する上で重要な事柄について、法に基づき市会に提案します。市会はそれらについて審議し、議決します。市長はその議決に基づき、市政を運営します。



## 市会の権限

市が行う事業の予算を定めるとき、条例の制定や改正などをするとき、また、一定額以上の契約を結ぼうとするときなどには、市長は市会の議決を得る必要があります。このように議決を行う権限を「議決権」といいますが、この議決権のほか、市会には地方自治法で主に次のような権限が与えられています。

### 市会の権限の詳細



#### 選挙権

議長、副議長や選挙管理委員などを選挙する権限

#### 検査権及び監査請求権

市の事務管理や金銭の出納などが公正かつ効率的に行われているかを監視するための権限

#### 調査権

市政全般について独自に調査を行う権限(百条調査権)

#### 同意権

副市長などを市長が選任する際に同意を与える権限

#### 意見書提出権

国・県などに意見書を提出し、意思や意見を表明する権限

#### 自律権

市会内部の問題を国や市長の干渉を受けず定める権限

#### 請願及び陳情の受理

請願書・陳情書を文書で受理する権限

## 定例会と臨時会

市会には、定期的に招集される定例会と、必要がある場合にその案件に限り招集される臨時会とがあります。

市会では、条例により定例会の回数を年4回と定め、通例として2月、5月、9月、11月に招集されています。定例会も臨時会も招集するのは市長の権限ですが、議長が市会運営委員会の議決を経て招集を請求した場合及び議員定数の4分の1以上の議員から請求があった場合には、市長は臨時会を招集しなければなりません。この際、市長が招集しないときは議長が招集することができます。

定例会及び臨時会では、初めに会期が定められ、原則としてその会期中に本会議や委員会を開き、議案の審議・審査などの議会活動を行います。

### 年間の会議（時期は通例）

一般的な議案のほか、様々なことを審議しています。

2月

#### 第1回市会定例会

新年度予算に関する議案など

#### 第2回市会定例会

役員改選など

5月

9月

#### 第3回市会定例会

過年度決算に関する議案など

#### 第4回市会定例会

11月

※各定例会のほか、必要がある場合に臨時会が招集され、開催されることがあります。

## 横浜市議会基本条例

議会と議員の役割・活動原則、市民と議会、議会と市長との関係など、議会に関する基本的なルールを定めた条例です。

市会及び市会議員が果たすべき役割を明確にし、議会に関する基本的な事項を定め、これを市民と共有することにより、より豊かで潤いのある市民生活の実現を図ることを目的に平成26年に制定されました。

### 横浜市議会基本条例の詳細



### 用語解説



市会で使われる様々な用語については、Webにも解説を掲載しています。